

# 技術力を磨け!



東北大学  
おもて面 特任准教授

ウェアラブル  
グラス装着

## DX化の必要性(点検支援技術)

蛍光X線分析法と拡張現実技術を  
融合したコンクリート塩分濃度調査法



ハンドヘルド蛍光X線分析計  
で、その場で素早く非破壊で、  
塩分濃度測定が可能

測定結果を可視化



▲測定塩分濃度の可視化  
(赤色が塩分濃度の高濃度箇所)

※写真は“ウェアラブルグラス”による塩分濃度測定結果の塩分分布を確認

青森県道路メンテナンス会議の取組として、青森県内の道路管理者を対象とした橋梁点検についての技術講習会が11月6日(木)に一般国道7号平川橋(藤崎町)で行われました。

今回の講習会では、『橋梁点検技術力の向上』を目的にDX化の必要性(点検支援技術の活用)と構造物の長寿命化に向けた予防保全の取組について紹介・実演し、参加した国・県・市町村の職員26名が技術力を養うため、熱心に受講していました。

## 構造物長寿命化の予防保全取組紹介・実演



コンクリート中性化の説明を受ける参加者

表面塩分測定器による  
付着塩分量の測定状況 →



コンクリート中性化試験(ドリル法)の実演



鋼道路橋の高圧洗浄機による桁端洗浄の実演